



「氷都八戸」を掲げる青森県八戸市に2020年4月にオープンした多目的アリーナFLAT HACHINOHE

FLAT HACHINOHE

オリジナルのアリーナ照明を開発・導入し 劇場のような観戦空間を創出

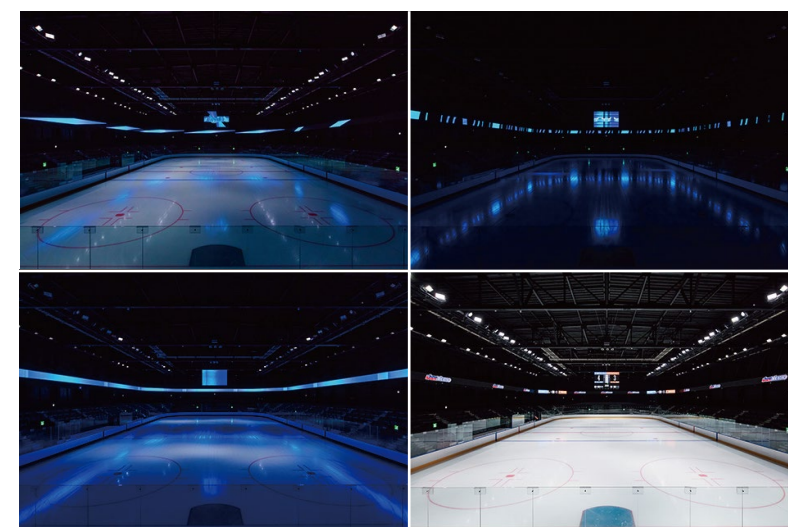
青森県八戸市は明治時代以降、アイススケートが盛んで、アイスホッケーやフィギュアスケートでも日本代表級の選手を多数輩出。日本のウィンタースポーツの拠点都市になっている。2020年4月にオープンしたFLAT HACHINOHEは、通年型アイスリンクとしての利用をベースに、バスケットボールのようなアリーナスポーツや、コンサート、コンベンションなどの開催も想定した多目的アリーナ。競技者だけでなく、観客にも配慮した光環境を創り出すため、オリジナルのLEDアリーナ照明器具が導入された。130台のアリーナ照明器具

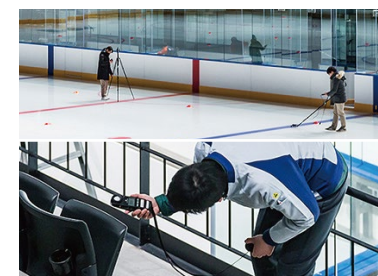
によって光をアリーナに集中させる一方、客席への光を抑制することで競技面とのメリハリを保ち、劇場のような観戦空間を創出する。アリーナや客席での照度測定だけでなく、実際に各客席に座りグレアを目視でも確認して、選手・観客双方に最適な光環境を実現した。アリーナ照明器具にはDMX機能も搭載、コンサートやイベント開催時には光の演出を行うことも可能。また、各種競技シーンにふさわしい光環境に転換できるプログラムも運用されている。FLAT HACHINOHEは隣接する公園FLAT PARK（フラットパーク）と連携して学校の体育や地域行事、市民交流にも対応、まちづくりの核として活用されることが期待されている。



FLAT HACHINOHE

所在地／青森県八戸市大字尻内町
事業主・総合プロデュース／クロススポーツマーケティング株式会社
設計・施工／戸田建設株式会社
プロジェクトマネジメント／株式会社山下PMC
クリエイティブディレクション／SAMURAI 佐藤可士和
開業／2020年4月


 演出用に設置されたセンタービジョンとアリーナを取り囲むリボンビジョン
(納入メーカー: 電音エンジニアリング)

 アリーナ照明器具は用途や演出に合わせて、さまざまな光環境のパターンを構築。
コンサート開催時などには多彩なシーンを創出できる

 FLAT HACHINOHEの用に開発されたLED照明器具。
設置の向きや照度を1台ごとに調整した

 照度やグレアのチェックも行い、微調整を重ねて
最適な光環境を実現

主な納入設備

●LED投光器